平成26年11月7日　中部経済新聞　掲載

経　済　新　聞　　2014年（平成26年）11月7日

注文住宅の揺れ半減

シンカ 新制震装置を採用

建物の設計施工などを手掛けるシンカ（本社高浜市神明町、野々山光秋社長、電話0566・54・0555）は、自社の建築住宅で新しい制震装置「SSダンパー」の採用を開始した。千博産業（本社浜松市中区）の製品で、自動車のショックアブソーバーの技術が応用されている。建物の揺れを最大50％軽減し、標準的な木造2階建て住宅で3・3平方㍍あたり1万円程度と安価で設置できるのが特徴。注文住宅を建設する施主に対して積極的に提案を図るほか、分譲住宅には標準装備していく。

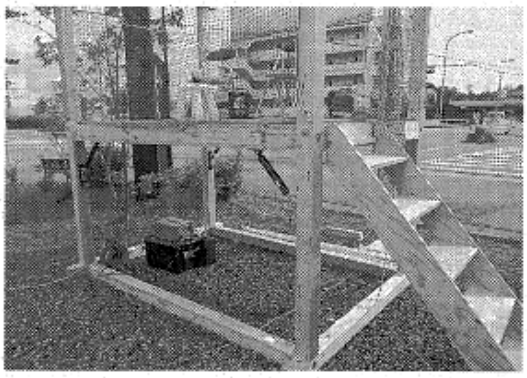
（高浜・片桐芳樹）

制震装置「SSダンパー」

SSダンパーは、千博産業が自動車チューニングパーツメーカーと共同開発した。柱と梁（はり）などに設置して、油圧式のダンパーが地震の揺れの振動を減らす。

シンカでは、ことし4月から試験的に提案を開始したところ、好評だったことから本格的に採用していくことにした。モデルをつくり、体感イベントを実施している。すでにSSダンパーを採用した注文住宅の引き渡しが始まっている。また、刈谷市野田町で販売をスタートした分譲住宅3戸には標準装備として取り入れている。

同社では「SSダンパー、モータースポーツの世界で培った技術が生かされている。これからも新しい技術・製品を積極的に取り入れていきたい」としている。



制震装置の効果が体験できるモデル

事業承継のコツ伝授

豊田信金が「次世代経営者塾」

【豊田】豊田信用金庫は日、豊田市小坂本町の豊商工会議所で第1回「次代経営者塾」を開いた。創業者の志を承継する人育成」を狙いとした全5シリーズ。今回は佐原経支援パートナー代表の佐原啓泰氏が「事業承継の成功哲学」と題し、権限委譲がスムーズに進まない原因などについて解説した。

その中で佐原氏は、困った事例として「創業者が70、80歳になっても元気で、経営に口を出し続けるのが多